

PMDA 医療安全情報

(独)医薬品医療機器総合機構



No.15 改訂版 2015年 4月

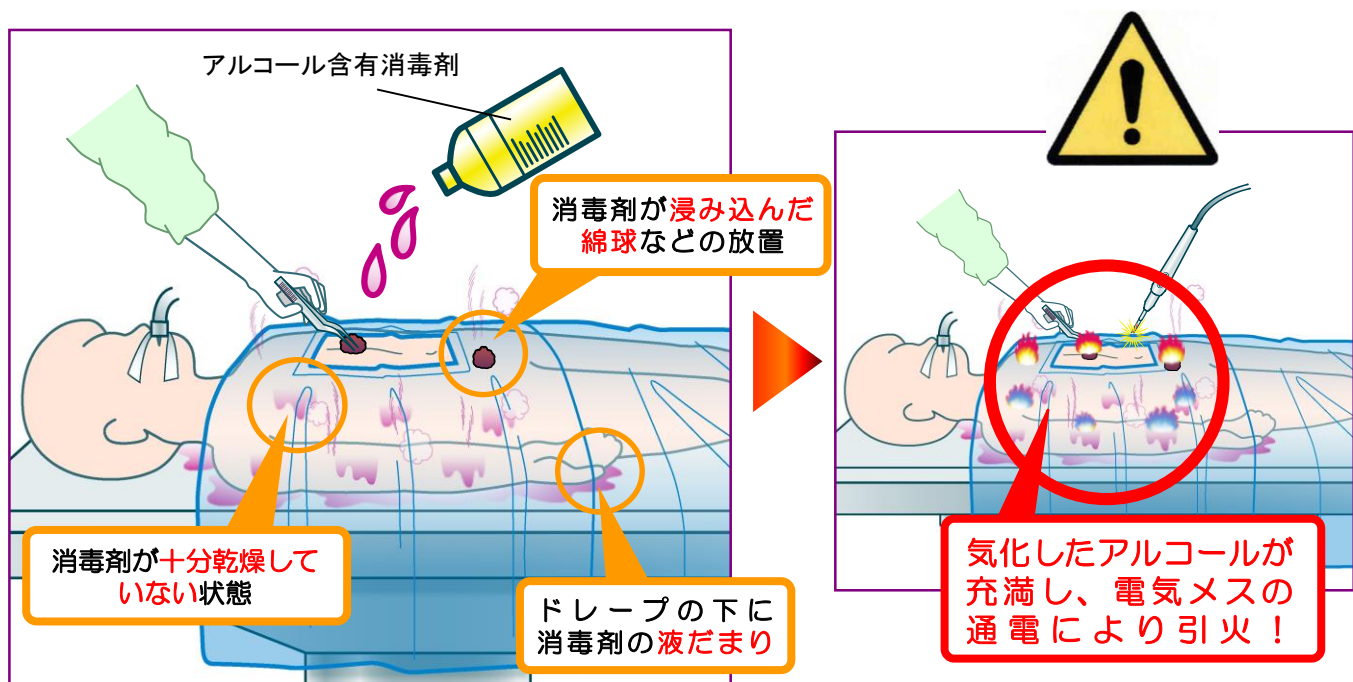
電気メスの取扱い時の注意について（その2）

POINT 安全使用のために注意するポイント

（事例）気化したアルコール含有消毒剤や液体包帯などに電気メスの火花が引火し、患者がやけどを負った。

1 アルコール含有消毒剤使用時の注意点について

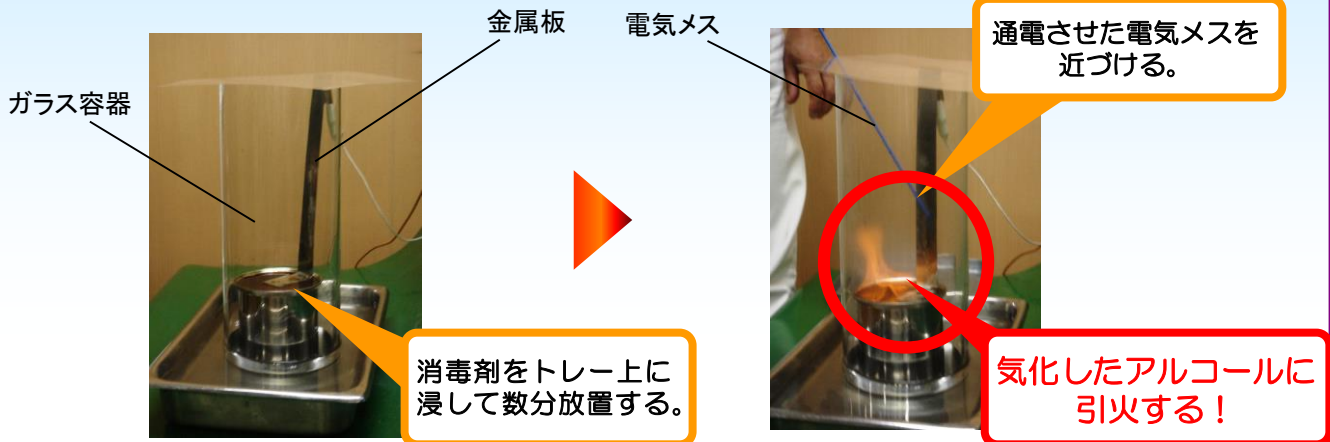
- アルコール（エタノール又はイソプロパノール）を含有する消毒剤は、**火気厳禁**です。消毒剤の乾燥を十分確認すること。



多量の消毒剤の使用により、ドレープ（覆い布）、マットレスに吸収された消毒剤などから気化したアルコールに引火します。また、引火した炎は、はじめ青白く気付かないので大変危険です。



検証写真 アルコールへの引火



アルコールを含有する消毒剤

イソジンフィールド液10%



(綿球なし)

イソジンフィールド液10%



(綿球あり)

0.5%クロルヘキシジンエタノール溶液



(綿球あり)

アルコールを含有しない消毒剤

ボンゴール消毒液10%



(綿球なし)

アルコールが気化しているため、
電気メスが消毒剤に触れなくても、
近づけるだけで引火します。

アルコールを含有しない
消毒剤は引火しません。

(実験協力 (社)日本医療機器工業会 手術用メス委員会 技術部会)

★ これらの実験は、動画でも見るができます。

(社)日本医療機器工業会 <http://www.jamdi.org/anzen/index.html>

アルコールを含有する消毒剤やアルコールで希釈した消毒剤を使用する際には、
原則、電気メスの使用は控え、やむを得ず電気メスを使用する場合には、
アルコールを含有しない消毒剤の使用を考慮して下さい。



下記の消毒剤などの中には、これまでに電気メスの使用による引火の事例報告があります。商品名（販売名）に「エタノール」や「アルコール」などの表記がないので、使用時には十分注意して下さい！



Meiji Seika ファルマ（株）



イソジンフィールド液10%

吉田製薬（株）



ポピドンフィールド10%

丸石製薬（株）



プレポダインフィールド1%

【適用上の注意】

エタノールを含有しているため、電気メスを使用する場合には、本剤を乾燥させ、エタノール蒸気の拡散を確認してから使用すること。特にドレープ（覆い布）等の使用時には、本剤が液状として残ったり、ドレープ下に気化したエタノール蒸気が充満することで、引火しやすくなるおそれがある。

← アルコール含有消毒剤の添付文書には、左のような注意書きが記載されています。

Meiji Seika ファルマ（株）
イソジンフィールド液10% 添付文書より抜粋

2 アルコール含有消毒剤以外への引火について

アルコール含有消毒剤以外にも、液体包帯や骨セメントへの引火の事例報告があります。電気メス周囲で使用する製品の可燃性について、添付文書などで確認しましょう！



液体包帯の一例



シュアブレップスプレー 低刺激性皮膚材
(メドライン・ジャパン(同))



キャビロン 非アルコール性皮膚 スプレー
キャビロン 非アルコール性皮膚 ワイプ
(スリーエム ヘルスケア(株))



ノンアルコール スキンブレップ スプレー
ノンアルコール スキンブレップ
(スミス・アンド・ネフューウンドマネジメント(株))

本情報の留意点

- * このPMDA医療安全情報は、財団法人日本医療機能評価機構の医療事故情報収集等事業報告書及び医薬品、医療機器の品質及び安全性の確保等に関する法律に基づく副作用・不具合報告において収集された事例の中から、独立行政法人医薬品医療機器総合機構が専門家の意見を参考に医薬品、医療機器の安全使用推進の観点から医療関係者により分かりやすい形で情報提供を行うものです。
- * この情報の作成に当たり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。
- * この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課したりするものではなく、あくまで医療従事者に対し、医薬品、医療機器の安全使用の推進を支援する情報として作成したものです。

どこよりも早くPMDA医療安全情報を入手できます！
登録はこちらから。

